

新風

発行 神石高原町議会議員

木野山孝志 後援会

令和6年 7月25日 NO.71

発行責任者：橋迫芳隆



神石高原町父木野2953-1

ホームページ <http://www.7a.biglobe.ne.jp/~t-kinoyama/>

6月 定例会

物価高騰対策事業に追加補正

総額4億7299万円(6月)

6月定例会は11日から19日まで開かれ、6月度各会計補正予算、工事請負契約の変更など18議案を審議し、原案のとおり可決・承認しました。また専決された事件や、令和5年度各第3セクター経営状況などの報告がありました。

6月補正予算は表(総括表は次ページ)のとおりです。
4億7299万円の増額補正となりました。

一般会計補正額3億807万円の内、経済対策として定額減税対応経費7832万円、電気ガス食糧高騰対策3570万円などが追加補正されました。

新型コロナウイルス感染症対策に
4370万円

本年度から、新型コロナウイルスワクチン接種が定期接種に位置付けられたため必要経費を確保しました。

町道・農道維持や道路整備に
3095万円追加補正
交通量の多い町道の法面補修

や農道矢壁線の水路維持補修工事。

財政調整基金積立
国民健康保険特別会計

国民健康保険特別会計において安定的運営のため7817万円の基金積立を行います。

七月臨時会

「油木スポーツ広場」改修工事
3億9000万円

この度サッカーチーム福山FCとの提携を受けてスポーツ振興の拠点施設として油木スポーツ広場の改修が提案され承認可決しました。人工芝・照明・ロッカー・駐車場など整備します。主な財源は合併特例債の発行で賄います。

令和6年6月一般会計補正予算)

(単位:万円)四捨五入

費目	補正予算	補正後予算	主な内容
議会費	▲ 19	8359	職員人件費
総務費	1億1329	28億5686	財務会計管理(マイナンバーなど)375、普通財産管理(旧井関小レッドゾーン指定解除対策費)906、町PR事業▲100、油木ふれあいプラザ*418、宝くじ(仙養・井関大矢)490、定額減税対応経費7,832、合併20周年記念事業87
民生費	2179	21億0560	電力ガス高騰対策(新非課税世帯など)3,570、こばたけ保育所管理159、旧こばたけ保育所整備122
衛生費	4339	14億9292	予防接種(新型コロナウイルスワクチン)4,370
農林水産費	6921	11億8694	山村開発センター(油木)改修工事.5,539、農業公社田植え機助成295、182ステーション新札対応レジ・駐車場271、わんぱくトマトガーデン経費210、農道(矢壁線)維持管理300
商工費	658	1億9817	職員人件費・観光事務など
土木費	2842	8億8220	町道維持管理3,635、
消防費	128	4億5645	屯所管理・勤務手当など
教育費	332	8億9330	小学校舎(三和小。来見小)施設管理123
災害復旧費	500	1504	過年度発生道路橋梁復旧500
公債費	1320	12億8410	長期債元金繰り上げ償還1,320
諸支出金	278	4億5790	保険医療福祉基金267、産業振興基金10、企業立地基金2積立
予備費		4000	
合計	3億0807	119億5307	(歳入の主なもの)町税1598、分担金460、国庫支出金1億1383、財産収入104、繰入金765、繰越金6151、過疎対策債6790

なにがどうなる

条例改正など

おもなもの

<刑法の一部改正による関係条例の整理>

○町条例の給与条例、町消防団の定員任免服務条例、町非常勤消防団員退職奨励金条例の中の
・「懲役」・「禁錮(禁こ)」を「拘禁刑」に改める。

<町職員給与条例の一部改正>

○令和6年能登半島地震、災害応急業務
に従事する本町派遣職員の手当の見直し。
・現行「710円」⇒「1,080」とする。

<財産の取得>

◆物品名 ホールクローブ収穫機 1台
(配置) 神石地域堆肥センター
○契約金額 14,935,800円 落札率78.9%
(相手方: ヤマ-アグリパソ(株)三和支店)

<工事請負契約の締結>

- ◆工事請負契約の締結 庁舎管理経費 油木支所庁舎改修工事
○請負金額: 109,295,000円 落札率92% (請負者: 有限会社 井上組)
- ◆工事請負契約の締結 体育館管理運営経費 神石トレーニングセンター屋根全面改修工事
○請負金額: 71,204,320円 落札率92% (請負者: 株式会社 後藤組)
- ◆工事請負契約の締結 道路メンテナンス 町道三石剣1号・2号補修工事
○請負金額: 69,740,000円 落札率99.4% (請負者: 有限会社 小塩組)

令和5年度繰越明許費繰越計算書(一般会計) 主なもの 単位:万円

款	項	事業名	金額	翌年度繰越額	左の財源内訳			一般財源
					既収入特定財源	未収入特定財源		
					国庫支出金	地方債	その他	
2.総務費	1.総務管理費	庁舎管理(神石支所)	1億2,760	8,492		8,060		432.4
3.民生費	1.社会福祉費	電気ガス食品など価額高騰対策支援	1億3,582	1,393	1,240			153
4.衛生費	2.清掃費	次期ごみ処理対策	8,118	8,118	1,496	2,990		3,631.7
8.消防費	1.消防費	消防自動車購入	2,726	2,371.5		2,170		201.5
計			6億2,487	4億4,176	1億2,099	2億3,540	167.8	8,369.1

4億 4176 万円の事業を6年度に繰り越しました

令和6年度予算会計別総括表

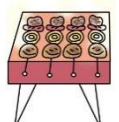
単位:万円(四捨五入)

会計名	R6年度	令和6年度					
	当初予算額	6月補正	5月補正後予算額	7月補正	7月補正後予算		
一般会計	116億4500	3億0808	119億5308	3億9000	123億4308		
特別会計	国民健康保険	11億6800	7832	12億4632		12億4632	
	後期高齢者医療	4億0080	133	4億0,213		4億0,213	
	介護保険	18億2100	8115	19億0,215		19億0,215	
	内訳	保険事業勘定	18億0200	8115	18億8,315		18億8,315
	内訳	介護サービス事業勘定	1900		1,900		1,900
	飲料水供設事業	3380	411	3,791		3,791	
	分収育林事業	10		10		10	
	総合開発事						
特別会計計	34億2370	1億6492	35億8,862		35億8,862		
病院事業会計	5億3213		5億3,213		5億3,213		
内訳	資本的支出	7125		7,125		7,125	
	収益的支出	4億6088		4億6,088		4億6,088	
集落排水事業会計	3億0591		3億0,591		3億0,591		
内訳	資本的支出	1億0149		1億0,149		1億0,149	
	収益的支出	2億0442		2億0,442		2億0,442	
合計	159億0674	4億7299	163億7973	3億9000	164億6382		

全日本スカウトジャンボリーの開催が決定しました

日本スカウトジャンボリー

- ・青少年の自己成長を促す・・・4年に1回開催
- 第19回日本スカウトジャンボリーの開催
- 1, 名称 第19回日本スカウトジャンボリー
- 2, テーマ(調整中)
広島に関連した平和教育、災害発生に備えた減災、協働と共同参加者と運営者の協働、地域社会との共同)
- 3, 会場
広島県神石郡神石高原町
→ティアガーデン+カントリーパーク仙養
海拔700m 車で1時間圏内
- 4, 会期
令和8年8月4日(火)～10日(月) 6泊7日
- 5, 参加者 ボーイスカウト4800人
+引率者1200人+ガールスカウト600人
大会スタッフ 1400人 計)8000人



第三セクター奮戦中 令和5年度決算

ローソンチェーン

株式総数、町保有株数、株式額面、株式総額の変更はなし。

決算状況は、当期純利益、繰越利益剰余金ともに黒字決算となった。

総売上高は、目標の6億円を超えたが、ペイペイキ

さんわ182ステーション売上明細表

単位:万円

R5売上高	
市場売上高	3億7,916
フードコート売上高	3,167
自販機売上高	386
その他売上高	150
ローソン売上高	1億8,747
加工品売上高	293
合計	6億0,657



最終売り上げが106.8%と増加しました。ローソンの売上高は、前年比91%の減となったが「コンテスト」では総合優勝を飾っており認知度も上がっている。

当期は、純利益・繰越利益剰余金ともに黒字決算となった。作業実施面積は、やや増加傾向。売上高は、前年対比20.9%増、103.5%の売り上げとなった。

売上増加部門は、田植え、農業生産、公共施設管理(草刈りなど)、作業受

ヤンペーンの終了や百彩館の運営終了などの影響で、前年対比93.4%、額で4,270万円の減となった。来客数も、46万7,521人と、前年比97%の減。

改修補助金などの営業外収益により、税引き前当期純利益177万円を確保している。

売上高から販売管理費を差し引いた当期営業損失は421万円となった。補助金収入により、当期税引き前利益92万2千円を確保できた。当期末の繰越利益剰余金は1,280万4千円となった。

期純利益は78万円の黒字となったが過去の累積赤字の解消は出来ていない。スコラ高原の利用客は、昨年対比105.5%の89,322人と増加した。総売上高は、8,408万円、昨年対比132%と大幅に増加した。

特に食堂施設利用料収入は1,357万円、167%増の3,382万円となっている。

前年度で法人設立7期目。上半期は2件申し込み1件支援実行、下半期に1件申し込み1件支援実行。現在まで15回の支援案件募集、累計33件、5億円を超える資金支援依頼あり。

新しく事業継承に関する案件も資金支援のターゲットとして検討を開始する。

「チャレンジ基金」

現金預金(一般)	928,069	未払金	621,899
未収入金	0	未払法人税等	71,000
仮払金	2,150	預り金	235,170
現金預金(特定)	24,297,069	長期借入金	90,000,000
未収補助金	9,074,600	正味財産	
投資有価証券	86,650,000	正味財産(一般)	3,000,000
<投資株式 1社>	20,000,000	正味財産(指定)	27,023,819
<私募債 9社>	66,650,000		
合計	120,951,888	合計	120,951,888

【本町ならではの教育】

教育長「教育方針」においては、「神石高原町で学んで良かった」と自信と誇りを持って言えるように、教師・生徒が、郷土の歴史と伝統文化への理解と愛情を持ち、自分の夢や目標を確立するとあります

そのためには、日本の歴史文化を愛し、日本人としての誇りを持たねばなりません。日本の国としての成り立ちや、あった姿を歴史教育を通じて、学び理解することが重要です。

歴史学は、「他国を攻撃する武器である」と同時に「自国を守る武器」でもあります。

中学校の歴史教育は、教科書の選定を含めてどのようにされてきたのか。

また、本町ならではの教育の一環として、新たな取り組みが考えられるならばどういった事が考えられるか。

【黒い雨の施設】

本年度の当初予算質問の中で、現在の黒い雨の施設である「志麻利」の活用についてお伺いしました。「志麻利は黒い雨の舞台となっており、特徴ある資源なのでしっかりと活用していきたい。」と答弁頂きました。

今後の方針、具体的な取り組みをお伺いします。

左派的なトピックを多く取り扱った教科書もあればイデオロギー的な判断を避けた教科書もある。

子供たちに日本人として郷土を愛し、日本を愛する気持ちを醸成させるためには、そのように記述されている教科書であるべきだ。いずれも検定は通っていますがどう思われるか。

どの出版社の教科書も学習指導要綱を踏まえ作成されている。その中でそれぞれ特徴がある。郷土の伝統や文化は総合的な学習や道徳の中で項目でもあり、そちらからも進めていきたい。

木野山 日本を肯定的に捉えた教科書も検定を合格していますが採用面では現況においては厳しい状況です。

本町ならではの教育をうたっています。本当に日本人として誇りが持てる教育をしようと思ったり、郷土の歴史を掘り起こしながら、中立的な教科書を選定して頂きたい。

今年が中学校教科書の選定の年です。しっかり調査研究を行い、公平公正、これに努めてまいります。

黒い雨の施設 志麻利

町長 志麻利は本町の平和教育の推進拠点として活用されている。今年度、観光団体等育成事業として志麻利伝承映像作成を予算化している。

施設の中・長期的な活用方針は現段階では決定していないが老朽化が課題で活用と併せ一体的に調整・協議を進めていきたい。

木野山 この施設は寄贈された民家を活用しているもので公的施設としては、陳列など限界がある。老朽化の問題もある。

町内の文化的施設の整備計画はどうなっているのか。

未来創造課長 年次計画は現在ありません。

木野山 町のインフラ整備は長期的計画で実施される。

志麻利も文化的施設として整備計画に組み込んで頂き、町の持つ文化伝統やJINPの紹介など特徴的な町情報発信施設になれば、本町の発展に繋がると思うが。

町長 小説黒い雨の映像を残せば、平和教育にも活用できる大きな資源になると思う。

色々な神石高原町の歴史を繋いでいく事は重要と考えている。そういった文化施設を将来的には考える必要があると思っっている。

将来に向け検討していきたい。

教育長 歴史教科書をはじめ

全ての使用教科書は、法令等を踏まえ教科書検定委員会を開き、調査研究を行い選定している。

歴史学習は、学習指導要綱に基づき指導していますが、社会科学の授業だけでなく、総合学習の時間においても地域学習と併せ、発達段階を踏まえてカリキュラムを工夫し進めている。地域の伝統行事への積極的な参加も大切な事と考えています。

木野山 本町使用の中学校歴史教科書の選定理由は、

本町の子供たちの実態に応じた指導に効果的な教科書です。考えるツールなど多様な観点から主体的に学習に取り組みよう工夫がされている。

木野山 教科書は公平性と透明性が確保されている事と検定と採択は公正中立になっ

ていることが大事だ。日本の中学校の歴史教科書は出版社ごとに異なる特徴がある。

新市七曲西城線と「鉄の道」



日本書紀から、古代の神石は「鉄」を産出し「川井谷」を通り金丸に運ばれ、鉄の王国吉備を支えた。と大胆に主張している。古代の神石は如何に栄えたか。是非、一読をお勧めします。

この度、三和郷土史研究会（田原和博会長）より、「古代の神石『鉄の道』」が刊行されました。日本書紀から、古代の神石は「鉄」を産出し「川井谷」を通り金丸に運ばれ、鉄の王国吉備を支えた。と大胆に主張している。古代の神石は如何に栄えたか。是非、一読をお勧めします。